

会 議 議 事 録

1 会議名	令和元年度長岡市社会資本総合整備計画等事業評価監視委員会 【議題 長岡市ICアクセス道路整備】
2 開催日時	令和2年2月19日（水曜日） 午前9時30分から11時30分まで
3 開催場所	長岡グランドホテル2階・悠久（南）の間
4 出席者名	<p>（委員）</p> <p>大塚委員長 小川副委員長 並木委員 山田委員</p> <p>土屋委員 矢澤委員 佐藤委員</p> <p>（事業説明者）</p> <p>・長岡市</p> <p>野口土木部長</p> <p>土木政策調整課：谷畑課長（事務局兼） 松木課長補佐</p> <p>平澤室長 岡村係長</p> <p>道路管理課：中川課長 渡辺課長補佐 竹畑係長</p> <p>道路建設課：石黒課長 反町課長補佐 飯塚係長 平沢係長</p> <p>（事務局）</p> <p>土木政策調整課：長谷川課長補佐 櫻井係長 小林主査</p>
5 議題	<p>1 制度の概要について</p> <p>(1) 事後評価制度の概要</p> <p>(2) 社会資本整備総合交付金の概要</p> <p>2 社会資本総合整備計画の概要について</p> <p>(1) 上位計画の概要</p> <p>(2) 本整備計画の概要</p> <p>(3) 事業の内容</p> <p>3 評価結果の内容について（審議事項）</p> <p>(1) 成果の達成度</p> <p>(2) 事業の効果発現要因の整理</p> <p>4 今後の整備方針について（審議事項）</p> <p>(1) 今後の社会資本整備の方策</p> <p>5 今後のスケジュールについて（報告）</p> <p>(1) 委員会終了後の手続きについて</p>

6 審議結果の概要	<p>議題1・2・5について</p> <p>事業説明者より資料で説明し、理解を得た</p> <p>議題3について</p> <p>評価の妥当性について了承された。</p> <p>議題4について</p> <p>評価書の通り了承されたが、一部表現の修正を行う。</p>
7 審議の内容	
委員長	<p>計画名「長岡市ICアクセス道路整備」の事業評価ということで、議題1「制度の概要について」および議題2「社会資本総合整備計画の概要について」説明をお願いします。</p>
土木政策調整課長補佐	<p>それではご説明します。（資料により説明）</p>
委員長	<p>ご質問等ありますか。</p>
委員	<p>計画の目標として、長岡北SIC周辺道路の整備を実施している状況ということは理解できましたが、長岡北SICが供用されたことにより、蔵王橋がさらに混雑したと思っている市民が多いのではないかと考えられます。</p> <p>私も高頻度で利用をしているわけではないですが、混雑しているのではないかと感じます。長岡北SICができたことによって混雑したわけではないと考えていますが、交通量が増加したと考える市民がいることは事実だと思います。もし実際に交通量が増加しているということであれば、どのような対応をしているかのご説明をお願いします。</p>
土木政策調整課長	<p>蔵王橋は以前から渋滞している箇所となっており、長岡北SICは平成29年3月に開通しましたが、これに併せて稲葉立体とといいまして、国道17号から直進したところに信越線をまたぐ高架橋を渡り、新幹線の高架下をくぐる道路が開通され、踏切を通ることなく蔵王橋、長岡北SICへアクセスが可能となりました。この2つの要因により、交通量が増加している傾向にあります。</p> <p>これについては道路を管理している新潟県、長岡市、国土交通省と連携し協議会を立ち上げ、主要渋滞箇所に位置づけながら検討を進めているところです。特に、朝の通勤や夕方は渋滞が発生しており、色々な対策を検討していますが、まずは先ほどの事業の中で説明した、左岸バイパスの北延伸を実施します。この事業では、現在国道8号と取り付く箇所の整備を行っていますが、これが最終的に長岡北SICまで接続する予定です。これにより、交通量の分散がされるのではないかと考え、事業を進めています。</p> <p>ただし、整備に時間がかかりますので、渋滞対策協議会の中で、信号機の切り替えや一部の流入規制などのソフト対策を検討しながら進めていきたいと考えています。</p>
委員長	<p>先ほど説明のあったラダー型広域幹線道路網の整備は自動車交通の分散化することを目的としているということでしょうか。現状では左岸バイパスが全て整備されたわけではなく、十分なアクセスの確保がされていない状況のため蔵王橋に交通量が集中してしまっているということでは</p>

土木政策調整課長	<p>しょうか。</p> <p>そのとおりです。蔵王橋利用者が川西北部方面からどこに向かうかというのは、現在調査中ですが、例えば東側の南寄りに行くのであれば、一度国道8号へ出てから長岡大橋や大手大橋へ行くなどの分散化がある程度見込まれると考えていますので、できるだけ早く左岸バイパスと長岡北S I Cの接続を目指していきたいと考えています。</p>
委員長	<p>その整備はいつ頃完成する予定ですか。</p>
土木政策調整課長	<p>令和4年度を目標としています。ただし、蔵王橋周辺の交通量が今の2車線だとかなり厳しい状況のため、左岸バイパスの整備だけではなく、ここについては引き続き検討を進めていきます。</p>
委員	<p>蔵王橋～国道8号の区間で、先ほど話があった稲葉立体付近の交差点には、保育園が立地していますが、長岡北S I Cの供用後に交通量が増加したことにより、保育園の出入り口付近で混雑が起きており危険な状況とだと考えられますので、その安全対策をお願いしたいです。</p> <p>また、本整備計画において、各事業の事業費に対する国からの交付金はどれくらいですか。</p>
土木政策調整課長	<p>少し前に滋賀県の交差点で自動車同士の接触により園児が巻き添えで死傷した事件を契機に全国的に安全対策の強化をすることを国が示しており、長岡市においても対策を講じています。これは、交差点の対策ということで、別の話かもしれませんが、皆さんからいただいたご意見も踏まえながら対策に努めていきたいというふうに考えております。</p> <p>その交差点は、県が管理している道路と市が管理している道路の交わる場所なので、しっかり連携して対策を進めていきたいというふうに考えております。</p> <p>また、本整備計画の事業に対する交付金は、道路事業は、概ね事業費の50%、一部55%が交付されています。なお、長岡市の道路整備に関する予算は年間約70億円ですが、そのうち約50億円は、交付金事業です。</p> <p>幹線道路については、国策で重点的に配分される事業がありますので、そういったものを活用して事業を推進していきたいと考えています。</p>
委員	<p>先ほど蔵王橋のソフト対策を検討すると話がありましたが、蔵王橋東詰の道路から土手方面への右折禁止時間帯規制を守っていないドライバーがいるため、その周知や取り締まりを強化していく必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>また、長岡北S I Cが供用したメリットとして、信濃川の右岸から、新潟空港等へ行く際の時間が読めるようになったことがあると思います。</p> <p>中之島インターを使用する場合、高見に長岡工業導入団地があり、通勤時間帯は混雑し時間が読みづらい状況があります。右岸から左岸への移動は、比較的混雑していないので、長岡北S I Cを使うことで時間が読みやすくなりました。</p>
土木政策調整課長	<p>通行規制を守らない方がいるのは、渋滞による影響もあると思われます。警察に話を聞くと、警察官が現地で見れば抑止力になるとのこ</p>

	<p>とですので、警察と連携して対策を進めたいと思います。</p> <p>新潟方面への時間が読みやすくなったということで、東側の北部工業地域や企業が集積しているところでは長岡北SICまで15分もかからない程度で行くことが可能な距離となるため、後ほど説明しますが、長岡北SICの利用台数が計画以上に伸びているということが、その表れではないかと思っています。</p>
委員長	<p>通行規制について、カメラなどで監視することはできないのですか。</p>
土木政策調整課長	<p>規制に関しては公安委員会の所管になりますが、いただいた意見も含め、より良い対策を検討していきたいと思っています。</p>
委員	<p>長岡北SICには車長制限が無いとのことですが、制限があるSICもあるのですか。</p>
土木政策調整課長	<p>車長制限があるところもありますし、時間帯の制限があるSICもあります。長岡市内ですと、南越路SICは、車長制限12mの規制があります。</p>
委員	<p>長岡北SICにこのような制限をしなかったのは、流通産業団地や工業団地からの大型流通車両、観光バスなどの利用を想定してのことだと思いますが、これらの車両の利用状況を分析することが、長岡北SICを評価するうえで、重要だと感じました。</p>
土木政策調整課長	<p>ご指摘のように、長岡北SICの車種別の利用状況の分析などを行い、どのような目的で利用されているかを把握してきたいと思っています。今後は大積PAのSIC化も目指していますので、そういった所にもしっかりつなげていきたいと思っています。</p>
委員	<p>上位計画である長岡市総合計画の基本方針に、「各地域や隣接市町村の中心部から、都心地区または高速道路のインターチェンジに30分以内にアクセス可能な幹線道路の整備を進める」と記載されていますが、指標1では15分圏域となっています。この理由を教えてください。</p> <p>また、指標3について、傾向線の値の+10%を目標値として設定したのは、現状の人口減少などの社会情勢などに反した目標設定のように思えますが、この目標値の設定は妥当だったのでしょうか。この事業の目標は魅力的な町の形成にあると私は考えていますが、そうであるなら道路整備も重要ですが、それだけではなくて、他の関連する事業あるいは地元など協力していかないと、この数字を達成することは難しいのではないのでしょうか。</p>
土木政策調整課長	<p>30分圏域だと、既存のICである程度確保することができているため、指標としては適切ではないと判断しました。</p> <p>長岡北スSICを整備した中之島見附ICと長岡ICの間隔が12kmと長い状況でした。新しいICをその中間に整備するということもあり、時間としては半分の15分に短縮するという考え方で設定しました。</p> <p>観光入込客数の傾向線+10%の設定ですが、設定した当時の平成14年から23年においては、毎年10万人ほど、観光入込客数が伸びているような傾向があり、その傾向線をたどると、かなりの観光入込客数が今後見込まれると予測されていました。これに長岡北SICの整備効果として、</p>

委員	<p>プラス10%ということで設定したものです。 今となっては、社会状況の変化などを踏まえると、レベルが高すぎたというところは反省点としてあります。</p> <p>長岡北S I Cの供用により、その周辺の道路事情が大変活性化したことに感謝しています。</p> <p>私は医療や福祉のサイドで少し話をさせていただきたいと思いますが、長岡赤十字病院など長岡北S I C周辺施設へ救急車両が高速道路を走って、県央の三条方面や魚沼方面から来ています。長岡北S I Cを含め、様々なI Cが出来、医療関係機関がそれらを十分活用して緊急対応を迅速にできることは、プラスの要素だと感じているところです。また、長岡北S I C周辺地域には、非常に福祉施設も多くあります。その周辺地域の道路が活性化することによって、デイサービスなどの送迎の円滑化に繋がると思います。蔵王橋の渋滞などの問題はありますが、こういった道路整備が、医療や福祉にも有効に活用できることに感謝申し上げます。</p>
土木政策調整課長	<p>救急搬送時間を短くすることによって、死亡率が下がるというデータがございます。病院周辺にS I Cを整備することで、そういった整備効果も考えながら事業を進めてまいりました。</p>
委員長	<p>事業の全体図を見ると、長岡北S I Cから越路の方に向けて、道路が繋がっており、整備方針が随分、形になってきた印象を受けました。できればもう少し早く整備をしていただけたらともっとよいと思いましたが、先ほど令和4年度に開通するとのことでしたが、これは、左岸バイパスが長岡北S I Cから越路まで令和4年度には繋がるという理解でよろしいですか。</p>
土木政策調整課長	<p>国道8号周辺から長岡北S I Cまでは令和4年度までに開通を予定していますが、越路方面は、まだ時間がかかってしまいます。</p>
委員長	<p>越路方面は、いつ頃の整備となりますか。</p>
道路建設課長	<p>その区間は、全体計画延長4.8キロとしていますが、今実際に事業として動いているのは、4.1キロです。 長岡東西道路の取り付け部分から、来迎寺停車場神谷線までの4.1キロになります。目標としては、令和9年度には、開通させたいと考えています。</p> <p>越路S I Cへの接続につきましては、区間の整備の状況を見ながら、着手の時期を検討させていただきたいということで、全体が開通するのはいつかというのは今のところ、申し上げることができません。</p>
委員長	<p>色々な制約条件があるのはもちろん理解していますが、物流の円滑化のための整備を目指すということもありますので、長岡北S I C周辺だけではなく、この区間も整備できれば相乗効果も期待できるので、迅速に整備を進めていただきたいと思います。</p> <p>それでは、次の議題3「評価結果の内容について」に移ります。</p>
土木政策調整課長補佐	<p>それではご説明します。（資料により説明）</p>

委員長	<p>それでは審議に入りたいと思います。今説明があった長岡市が主体的に行った評価結果について、委員の皆様から第三者の視点で、妥当性、客観性、合理性があるかをチェックいただきたいと思います。</p> <p>特に、目標値、評価値、達成度については、合理的で客観的に妥当であるか。また、効果の発現要因の整理については、各事業と指標の関連性が妥当であるかなどをご審議いただきたいと思います。</p> <p>ご質問等ありますか。</p>
委員	<p>長岡北S I Cの供用により、様々な整備効果があるということを改めて理解しました。今後はこの事業による効果やメリットを市民の方へ丁寧に説明していただきたいです。それにより、市が行う事業に対して、より理解され協力を得られるのではないかと思います。</p> <p>また、観光入込客数の評価については、そもそもの内容として、難しい指標ではないかと思います。理由としては、長岡北S I Cができたからといって、観光入込客数が増えるというわけではなく、人口減少や天候、現在のようなコロナウイルスの流行などがあると、観光が縮小してしまうため、この部分の結びつけを評価するのは困難ではないかと思っています。結果として、数字としても厳しい状況となっていると思われます。</p>
土木政策調整課長	<p>私どもも、なかなかうまく市民伝えられていないと実感している部分で、反省しているところですが、事後評価委員会の評価結果は、当然ホームページで公表させていただいております。</p> <p>また、例えば左岸バイパスはいつ整備されるのか、進捗状況などを市民の方に情報を提供していく必要があると考えています。長岡市土木部ではフェイスブックを立ち上げていますが、今後はここで新たな道路整備をする情報だけではなく、様々な取り組みをご紹介するような形とすることを検討しています。</p> <p>観光入込客についてですが、指標設定当時の観光入込客数が増加傾向となっていたため、この傾向のままであれば、目標値を達成できると考えていました。</p> <p>今回寺泊の観光入込客数が大きく減少したことが全体に影響しましたが、要因のひとつとして海水浴客の大幅な減少があります。市の観光部局の分析では、近年の猛暑で熱中症を心配し、海水浴が敬遠されているのではないかとのことでした。</p> <p>この指標は、当初予測できなかった要因により結果が大きく変わってしまいましたので、今後は、社会状況の変化を見据えながら合理的で客観的に妥当な指標の設定を行っていききたいと思います。</p>
委員	<p>指標3については、寺泊の落ち込みが最大の理由だと思います。今説明のあった海水浴客が減っていることも要因のひとつだと考えられますが、平成24年に発生した関越道高速ツアーバス事故を受け、平成25年8月に貸し切りバスの規制が強化され、ワンマン運行できる距離や時間に上限が定められたことで、ツアーバスが組みにくくなった状況があり、市内でも最大の観光地である寺泊の魚市場の大型バスの受入れが、だいぶ落ち込んでいるという実態があります。</p> <p>また、NHKの大河ドラマ「天地人」が放送中の時には、与板地域の観光入込客数が増加していたなど、観光入込客数は、その時々の流れで大分変わることがあると思います。</p> <p>道路が整備されて便利になれば当然利用が増えるだろうと思います</p>

	<p>が、ハード面だけではなく、観光事業者の方の努力がなければ、観光入込客数は増えないと考えますので、指標としては目標値には到達していませんが、△というのはやむを得ないと考えます。</p>
<p>委員</p>	<p>寺泊の落ち込みについては同意見で、貸切バスの規制強化で寺泊までワンマンで来ていたものが、ツーマンでしか来れなくなったなど、ツアーバスが組みにくくなっている状況が出ていますので、それも要因だと思っています。</p> <p>また、与板の入込客数についても、平成21年に天地人の放送があつて、与板へのタクシー観光が結構ありましたので、平成23年の数値がその影響で多かったのではないかと思います。</p>
<p>土木政策調整課長</p>	<p>ご指摘の通り、高速ツアーバスの事故を契機に規制が厳しくなってしまうこともありましたが、これも指標設定時には想定していませんでした。私たちはハード整備の担当部署のため、どうしても道路整備効果ということで考えてしまいますが、やはり地元の観光協会と市の観光施策を一体的に取り組む必要があることを実感しています。</p>
<p>委員</p>	<p>皆様の意見の通り、観光客についてはいろんな変動の中で、動きがあるのは、もともとだと思います。</p> <p>通行した自動車の方が、今は利用しなくても、ここを通れば寺泊へ行くことができるといったイメージが持てるような案内を今後検討してはいかがでしょうか。</p> <p>また、長岡北S I C付近の流通産業団地に企業などが立地するというところで、その企業だけでなく、建築業やその建物管理など、幅広くいろいろな分野で経済効果が見込めるものだと思っております。</p>
<p>土木政策調整課長</p>	<p>長岡北S I C供用時は、どの道路を通行するとどこへ行くことができるかというような標示があまりうまくいっていないものもあり、地元の観光協会から、案内標識の設置の要望を受けました。道路管理者として標識に地域名を追加するなどの対応を、寺泊・与板・和島・三島地域で早速行いました。今後も市と地元の観光協会と調整し、どのような看板が必要であるかの検討を進めていきます。</p> <p>また、様々な企業が立地するというところで、ご意見のとおり幅広い分野での経済効果を、長岡北S I Cや周辺アクセス道路のストック効果として、期待しているところです。</p>
<p>委員長</p>	<p>長岡北S I Cが供用されて、アクセス性が向上したことなど、PRは市の方で何かされていますか。</p>
<p>土木政策調整課長</p>	<p>様々なホームページや観光協会のパンフレットに載せるのアクセス情報などで周知しています。当初は認知度が低かったのですが、このような取り組みによって、利用者数が増加しているものと考えています。</p>
<p>委員長</p>	<p>長岡北S I Cから観光地まで非常に行きやすくなる点は、高速道路利用者を対象にもう少し周知していただいてもいいのではないかと感じますが、現状でもご尽力頂いているということですね。</p>
<p>土木政策調整課長</p>	<p>例えばパンフレットを作成し、東日本高速道路株式会社と連携しながら、高速道路利用者に配布し、周知していくようなことも考えておりま</p>

<p>委員長</p>	<p>す。</p> <p>地元に住んでいると、埋もれた観光地が多くあるという実感もあり、このような場所について、アクセス性の良さを強調して長岡市外に情報発信をすることで、呼び込みをしていくようなこともお願いしたい。</p> <p>それから、サービスエリアでの周知などを実施することにより、効果も上がると思われしますので、ご検討をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>長岡北S I Cを含め高速道路の出入口が増えたことで、観光地、医療機関、学校などへのアクセスが非常によくなったと思います。私の子供の学校は、県外だったんですが、高速道路の近くにあったため、何あったときにすぐに行けるという安心感がありました。そういうところで、観光客だけでなく、学生だったり若い人たちが入ってくることで、まちの活性化につながるのではないかと思います。若い世代が長岡に入ってきていただけることは、大変プラスになると思います。長岡北S I Cは造形大学に近いですが、県外の学生の親から、S I Cの利便性についての意見をもらっていただければ、教えていただきたいです。</p> <p>また、長岡北S I C周辺の観光PRについては、非常に薄いと感じました。長岡北S I C周辺に商業施設の看板があったと思いますが、私が見ても特に感じることは少ないですが、市外の方がそれを見て施設やその場所を認識できたということがありますので、看板を設置することで、視覚的に情報を得ることをできるようにすることは効果があると考えられます。これにより、長岡周辺の観光入込客数が増えていただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>長岡北SICが供用され、実際親御さんがそれを使っているかというのは把握していませんが、大学としては非常にメリットがあります。大学付近に立地していることや課外授業で新潟方面へ行くことがあるため非常に便利です。また、周辺の道路環境も整備されたので、非常に使いやすくなっているのが実態です。</p> <p>評価について、指標3の達成度を△としているのは、良いと思っております。理由は、寺泊以外の3地域の合計の観光入込客数が増えているということです。これを踏まえると、△で良いですが、ただ数字だけ見ると、当初現況より減っているため、この点はしっかりと説明しなければいけないと考えられます。</p> <p>また、観光入込客数だけで判断するのではなく、計画の目的は魅力的な町の形成なので、現実的には難しいと思いますが、例えば客単価は増えているのかなどが考えられます。</p> <p>もう1点、確かに長岡北SICの近くに流通産業団地ができることは良いと思いますが、この機会を利用して周辺に緑地や水辺を造るなど、地域の環境に貢献することも併せて行っていただくとよりよくなると思います。</p>
<p>土木政策調整課長</p>	<p>全国の観光に関する評価の指標については、データの取得がしやすい観光入込客数や宿泊者数などを用いることが多いです。</p> <p>この度の評価設定についても、例外ではありませんでした。</p> <p>ただし、いわゆる魅力的な町の形成ということを実現するために、経営の視点なども基本に据えて観光を産業として育成していくということも必要だと考えておりますので、そういったことをしっかりと取り組んでいきたいと考えています。</p>

	<p>流通団地の緑地や水辺の整備については、ただ単に工業団地を分譲販売するだけではなく、公園を整備することや、その周辺環境と調和するように、公園内にいろいろな施設を設け、近隣住宅及び立地企業の従業員等の健康増進、憩いの場となるような整備を進めてまいります。</p> <p>また、この公園の一部は既存住宅との緩衝緑地帯を兼ねるほか、立地の際には、企業側と公害防止に関する協定を締結し、環境保全に努めております。</p>
委員	<p>人のための公園緑地だけではなく、もっと素朴な雑木林みたいな樹林だとか昔からあったような水辺とかそういうものを配置することによって、この地域の生物多様性を向上させることで、全体の環境基盤を上げることを合わせて、進めていただきたいなと思います。</p>
土木政策調整課長	<p>そういったご意見をしっかり受けとめて今後の事業につなげていきたいと考えております。</p>
委員長	<p>この事業では、観光入込客数で評価をすることになっています。ここでは、道路を中心としているため、どうしてもこのような指標になるのは、やむを得ないと考えられますが、観光や環境などについては、他部署でも検討し、実施をしているという理解でよろしいですか。</p>
土木政策調整課長	<p>観光につきましては、様々な取り組みを展開しているところでございます。</p> <p>地域に広く人の流れを作りたいと考えており、アクセス性を向上するだけではなくて、例えば、今整備を進めております、国道8号沿いの道の駅ながおか花火館が令和2年度に整備されますと、そこをゲートウェイにして、いろんな情報を発信して、そこから人の流れを各地域の観光地へつないでいくことを目指すような取り組みをしていきます。</p>
委員長	<p>たくさんのご意見をいただきましたが、指標3については、目標値に達していないが、道路整備だけの要因ではないのではないか。三島・和島地域では、現況値より増加しているということから、「△」でいいのではないかというご意見もいただきましたが、この評価についてはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>先ほどの繰り返しになりますけど、指標3について、達成度は△でいいと思いますけども、寺泊地域以外の観光入込客数が増加していることを明確にして、どうして△なのかということを伝える必要があると思います。</p>
委員長	<p>その点につきまして、資料の修正等を検討してください。</p>
土木政策調整課長	<p>ご指摘の部分について、寺泊地域の減少理由、分析結果等を記述し、公表・報告をしたいと思っております。</p>
委員長	<p>評価項目の達成度については、ご承認いただいたということにさせていただきますと思いますが、発現要因につきましては、いかがでしょうか。これについてはあまりご意見をいただいておりますが、概ね、承認頂いているということではよろしいでしょうか。</p>

	<p>(異議なし) 指標との関連性が明確なものが多いかと思しますので、これにつきましては、承認したとさせていただきます。 それではただいまの審議事項は、これで終了します。</p>
委員長	<p>議題4の「今後の整備方針について」説明をお願いします。</p>
土木政策調整課長	<p>それではご説明します。(資料により説明)</p>
委員長	<p>ご質問はありますか。</p>
委員	<p>今後、流通産業団地が活性化することによって、朝の通勤時間帯等が混雑することで、長岡北SICへのアクセスが逆に悪くなってしまうという危惧もありますので、この点を十分考慮していただければと思います。</p>
土木政策調整課長	<p>ご指摘については、喫緊の課題としてとらえております。今後は長岡市だけでなく、国や県と連携し、しっかり取り組んで参りたいと思います。</p>
委員	<p>残された課題のところ、 「今後の観光客増加が課題」という部分は、道路だけが関連するものではなく観光産業が担う部分も大きいと思いますので、道路事業の計画の中では、必ずしも記載しなくても良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>観光客について、課題のところ「観光客増加」とういのを記載しなくて良いのではという話でしたが、周辺観光地の案内や観光客・市民に向けた周知というものは道路の使命であると考えていますので、この点は課題としてとらえたほうが良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>私も賛成で、引っかかっているのは観光入込客数の増加の部分で、道路事業ではハードルが高いので、「観光客利用促進が課題」ぐらいの表現が良いのではないかと思います。</p>
土木政策調整課長	<p>ご意見につきまして、「課題」の記述を修正させていただきます。</p>
委員	<p>社会資本整備全体としての意見ですが、「環境を保全しましょう」となっても、日本ではこれを補助する制度がほとんどありません。そのため、エコロジカル・ランドスケープ手法等を活用して開発の機会を利用して環境を保全することが考えられます。 つまり、流通団地を開発するという行為と合わせて、地域内の環境を保全していく、あるいは創出していくのが良いと思います。 このようなことの積み重ねによって、地域の社会環境が良い方向に行くのではないかと考えています。ぜひとも関係機関と協力し、このような機会を利用して、地域の環境保全、ひいては、魅力的な町の形成に向けて取り組んで頂きたいです。</p>
土木政策調整課長	<p>副委員長からご意見いただきましたことについて、十分受けとめながら、今後の事業につなげていきたいと考えております。 ありがとうございました。</p>

委員長	<p>今回、指標等では流通産業団地の立地については考慮されていませんでしたが、これにより、ますます長岡北S I Cを利用した流通が増えると思われま。</p> <p>流通・物流において、道路網の形成だけではなく、鉄道や貨物を活用するようなことは検討していますか。</p>
土木政策調整課長	<p>現時点では、ラダー型交通網の中に、そのような考えは取り入れられていませんが、長岡駅を中心に形成された中心市街地において、防災・避難の観点から、駅の結びつきや貨物の活用は必要で、例えば国道17号から南長岡貨物駅は、重要物流道路（補完路）として国の方が指定していますが、これは、平常時、災害時問わず、物流等の移動を確保できるようにする道路として位置付けがされている道路です。</p> <p>そういったところは、災害があっても通行止めにはしてはいけないということで、道路ネットワークの形成においては、これを関連づけながら検討を始めています。</p>
委員長	<p>鉄道について日本海側は旅客以外にも貨物が重要という話を伺ったことがあります。こういった流通産業団地周辺の道路は確かに便利で、北陸と関東を結ぶところにありますが、もう少し鉄道貨物なども取り込むような視点もあると良いと考えます。</p> <p>また、観光については、越後丘陵公園はアクセス性が良く、他地域から来訪する方も多という印象を持っております。寺泊等々もありますが、他にも植物園など市街地から離れたところにある観光地などの周辺整備を行うなど、いろんな視点から、整備をお願いしたいです。</p>
委員	<p>この会議に出席することで、長岡市の道路全般のことについても学ぶことができました。</p> <p>これはお願いですが、長岡市っていうのは、大都市と違って、やはり交通の足は道路になると思います。私たちの生活にとって道路の整備、道路の利便性、安全というのは本当に大事な部分だと思いますので、これからもぜひ、長岡市民が安全に便利に暮らせるように、新たな道路の整備あるいは改良していただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
土木政策調整課長	<p>このようなご意見いただきましてこれからはっきり道路事業を進めていく必要があると感じました。</p> <p>まずは、ラダー型交通網について、長岡市だけではなく、国や県と役割を決めながら、連携して進めて参ります。</p> <p>また、渋滞箇所も、このネットワークを形成する中で、緩和改善していくように検討して参ります。</p> <p>ありがとうございます。</p>
委員長	<p>概ね、ご意見をいただいたと思います。</p> <p>それでは最後の議題5「今後のスケジュールについて」に移ります。</p>
土木政策調整課長	<p>それではご説明します。（資料により説明）</p>
委員長	<p>今ほど、ご説明いただきました内容につきまして、ご質問等ございますか。</p>

委員長	<p>(質問なし)</p> <p>では、特にご質問等無ければ、これで終了します。 本日の審議事項は、ご了承いただいたということにさせていただきます と思います。</p> <p>しかし、いろいろなご意見を頂いておりますので、それにつきましては は、事務局で精査をいただいて、それについて、ご対応をお願いします。</p> <p>以上で全ての議事を終了します。</p>
-----	---